

学生団体の活動における多様性尊重・性差別根絶に向けて

東京大学ダイバーシティ担当理事・副学長 林 香里

多様性包摂共創センター

ジェンダー・エクイティ推進オフィス長 田野井 慶太郎

新入生のみなさん、

ご入学おめでとうございます。

東京大学は、誰もが自由に生き活きと活動できる場を目指して、様々な取り組みを進めています。多様性を尊重する姿勢や態度を身につけることは、学生生活を豊かにするだけでなく、やがて社会において活躍し貢献していくための大切な一歩です。

このことは、サークル等学生団体の活動にもあてはまります。しかし残念ながら、本学には、長年にわたって、本学の女性学生の加入を実質的に認めない学生団体が存在しています。

これに対し、学生組織である東京大学教養学部オリエンテーション委員会は、学生団体が新入生勧誘において性別に基づいた差別をすることを禁じる規則を発表しました。本学は、差別を許さない姿勢を示したこの規則を大いに歓迎しています。みなさんの学生生活を通じてこの精神が貫かれることを強く期待します。

東京大学は「世界の誰もが来たくなる大学」を目指しています。その一つの形として、「東京大学ダイバーシティ&インクルージョン宣言」、「東京大学における性的指向と性自認の多様性に関する 学生のための行動ガイドライン」を定め、大学として多様性を尊重し包摂性を推進することを明確にしています。みなさん一人ひとりが充実した学生生活を送れるよう、共に、健全なキャンパスづくりを目指してまいりましょう。

令和6年3月